

※=====※

トラック 1

※=====※

夜分遅くにすまないな、突然訪ねてしまって。

加えて不躰な願いになるのだが……私を一晩、この家に置いてくれないだろうか？

申し訳ない、名乗り遅れた。

私はミネット。ミネット・ヴィルムート……勇者をやっている。

近くの街で、人間に化けた魔物に襲われてしまったんだ。

傷を癒すために宿をとろうとしたが、

街には他にも魔物が潜んでいるかもしれない。

それで……ここを訪ねたというわけだ。

森の中にあって、街からは離れているから。

い、いいのか……？

恩に着る。

君はまさしく私にとって救世主だ。

なに？

私の傷が治るまでこの家にいてもよいと、

そう言うのか？

それは流石に悪い。

随分と迷惑をかけることに……

※=====※

トラック 2

※=====※

はっ！

ここは……

そうだ、私は昨晚、キミの家を訪ねて……

まさか、倒れたのか？私は。

そうか……すまない、随分と迷惑をかけたようだ。

ベッドまで運んでくれたようだが、

重かっただろう？

お世辞はいい、勇者をやっていると、どうしても多少筋肉はつく。

重くなるのだ、体重がな……

聞こえたか？

ああ、私はもうダメだ……

勇者らしさや威厳がまるでない……

そのスープ……くれるのか？

ありがとう、ありがとう……！

いただくよ、本当に空腹だったものでな。

ん……んんっ……ん……

ごちそうさま。

体の芯から暖まるようだ……

昨晚は雨だったからな。

なに？

ふ、服を脱げだっ！？

ききき、キミ！なんて破廉恥なっ！

だ、だが、そうだな。

これまでよくしてもらったし、

そういう恩返しをするのも吝かではないな？

よ、よし！分かったぞ！

さ、さあ来い！

私でよければ相手をして差し上げよう！

痛っ！痛たたたっ！

な、なんだっ！？それはっ！？

き、傷にしみる！

な、軟膏か！薬草を使って……！

ぐっ！びりびり来る！

はー……はー……はー……

す、すまない……

私の早とちりだったようだ。

キミはただ、私の傷を癒そうとしただけなのに……

私は、下衆な想像をしてしまった。

そんなことをする人じゃないって、

薄々気付いてはいたんだがな……

だが、そうだな……むしろ、

キミが望んでいなくとも、私は奉仕したい気分だ。

今の私は、キミの厚意に返せるものを一つも持っていない。

だから、せめて体で埋め合わせたい。

だがキミは……おい、聞いているのか？

くくっ……♡

随分じっくりと私のおっぱいを見ていたようだな♡

話も耳に入らんほどとは、余程このデカパイが気に入ったらしい♡

なあに、謝ることなどない♡

キミはおっぱいに夢中で聞いていなかっただろうが、

私にとっては好都合なことなんだ♡

なあ、恩返しをさせてくれたまえよ♡

キミのおちんぽを……

キミの大好きなこのおっぱいで♡

気持ちよ〜く♡してあげたいんだ♡

遠慮しなくてもいいんだよ♡

それだけのことをキミはしたんだ♡

ふふ、想像しちゃったのかな？

おちんぽが、盛り上がってきてるよ♡

ズボンの上からでもよく分かる♡

抵抗しないのなら、沢山気持ちよくしてあげるよ♡

ほら、立ちたまえ……♡

わぁ……とっても立派なおちんぼ♡

匂いも濃厚で……♡

頬擦りしたくなってしまうほどだよ♡

今からこれを、おっぱいで挟んであげるからね♡

いくよ……♡

ん……しょっ……ふう……♡

キミのモノが大きいから……♡

谷間に入れるのが大変だったよ♡

包まれただけで幸せそうにしちゃって♡

可愛いなあ……♡

それじゃあ、おっぱいを動かすよ♡

ここからが本当の、パイズリ奉仕だからね……♡

ほら、どうかな……♡

ただ挟まれてるだけとは、全然違うでしょ♡

ずりずり……♡ずりずり……♡

ずりずり……♡ずりずり……♡

ずう～り……♡ずう～り……♡

おちんぼ幸せだねえ……♡

大好きなおっぱいにもみくちゃんにされて♡

気持ちいいよねえ……♡

いいんだよ……♡我慢しないで……♡

いっぱい気持ちよくなっちゃおうね♡

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡

にゆるにゆる……♡にゆるにゆる……♡

ぬちゅぬちゅ……♡ぬちゅぬちゅ……♡

ふふっ♡我慢汁まで出てきちゃったね♡

すっかり夢見心地のようだ……♡

キミの腰も、だんだん動き始めたね♡

私のおっぱいに、自分からおちんぼ擦りつけて……♡

とっても気持ちよさそうだ♡

遠慮はいらないよ♡もっと激しく、

ぱちゅんぱちゅん♡ぱちゅんぱちゅん♡

と腰を叩きつけてもらっても、構わない♡

なにせ、私のおっぱいはなんと K カップだ♡

乱暴にしてもらっても、

一度挟めば谷間から出ることなんて、ありえないんだよ……♡

おや♡サイズを聞かされたただけなのに……♡

おちんぼの脈動が早くなったね♡

ふふ……変態め♡

もうイきそうなんだろう♡

蕩けたキミの顔を見ていれば、よくわかる♡

それじゃあラストスパートだ♡

ずりずりずり……♡ずりずりずり……♡

むにゅっ♡むにゅにゅっ♡むにゅにゅうっ♡

にゅるにゅるっ♡にゅるにゅるにゅるうっ♡

ずう〜り♡ずう〜り♡ずう〜り♡ずう〜り♡

いいよ……キミも腰をへこへこ♡として♡

沢山気持ちよくなっているみたいだね♡

おちんぼ♡おっぱいに潰されて……♡

ぜえんぶ、お漏らしするんだよ……♡

ぱっちゅん♡ぱっちゅん♡

ぱっちゅん♡ぱっちゅん♡

にゅっぷ♡にゅっぷ♡にゅっぷ♡にゅっぷ♡

ほおら、おちんぽを精子が登ってきたよ♡

出ちゃうよお♡出ちゃうよお……♡

にゅぶにゅぶにゅぶにゅぶ……♡

むにゅむにゅむにゅむにゅう〜っ♡

びゅるっ♡ぶびゅるるっ♡

びゅるるるるう〜〜っ♡

あはあっ♡すごいでてるっ♡

パイズリ奉仕、そんなに気持ちよかったんだあ……♡

おっと？だ、大丈夫？

そうか、突然ベッドに倒れたから、びっくりしてしまったよ。

腰砕けになるほど気持ちよかったとは、

ふふ……邪魔だと思っていたこの胸も、

中々捨てたものではないな。

そうだ、今日はいい天気だし……

このまま二人で昼寝といかないか？

そうか、嬉しいよ。

じゃあ二人並んで横になろう。

キミとなら、久しぶりにゆっくりと眠れそうだ。

※=====※

トラック 3

※=====※

ああ、キミか。お陰様でそろそろ、私の傷も治りそうだ。

だがな、私には……やらねばならないことがある。

この傷の疼きが消え去ってしまう前にな。

キミが心配しているようなことじゃない。

話したいことがあるんだ。

私はっ……

私は……キミのことが好きだ。

世界で一番だ。

この想いは決して覆らない。

私はずっと、勇者として育てられた。

最終的に魔王を倒すという、

その見返りのためだけに愛情を注がれた。

恋とは、愛とは……

見返りやお金と結びついたものなのだと、誰もが私に教えてきた。

だから、そう思って生きてきた。

助けてくれたキミに

恩返しをしなければならないと、ひどく焦ってすらいた。

でもキミは他の人とは違った。

キミは私に無償の愛を与えてくれていたんだ。

初めて私は本物の愛を感じた。

心の底から沸き上がる、全身を奮い立たせるこの衝動を！

私は世界を救わなければならないが、

そんな私にとって唯一の救世主が、

キミなんだ。

なあ、私と恋人になってくれないか……

絶対幸せにするよ！

キミのためなら、なんだってできる！

そうか、そうか……本当なんだな……！

こんなに幸せな気分になったのは、

人生で初めてだよ……！

ふふ、はあぁ……

一つ、お願いをしてもいいかな？

キスがしたいんだ。

キミとの愛を、確かめるために。

じゃあ、いくよ……

んっ……んう……んん……♡

んうう……んっ……じゅるるっ……♡

んふうう……♡

んううっ♡んっ♡んんっ……♡

ん……♡ん……♡んうう……♡

ふはあっ♡はあ、はあ……♡

これはっ、すごいな……♡中毒になりそうだ♡

はあ……♡はあ……♡おや♡

また股間が盛り上がっているな♡

変態め……♡

そんなに私とのキスが好きなら、
キスをしながらおちんぽを気持ちよくしてやろう♡

さあ、下着を脱ぐんだ……♡

はは……♡そんなに焦らなくてもいいんだぞ♡

ではいくぞ♡キミの口とちんぽ……♡
同時に気持ちよくしてやる♡

んっ……♡ちゅうっ♡ちゅうっ♡

んちゅる……んっ♡ふうっ♡んん……♡

ちゅるるっ♡ちゅるっ♡じゅるっ♡

んううっ♡んっ♡んふうっ♡んん……♡

んはあっ……♡はあ……♡

フル勃起♡しちゃったね……♡

ちゅうううっ♡ちゅうっ♡ちゅうううっ♡

じゅるっ♡じゅずずっ♡じゅうううっ♡

ちゅうううっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅうううっ♡

んふーっ♡ふーっ♡んんっ……♡

じゅずっ♡じゅうっ♡じゅぞっ♡

ずるるっ♡じゅぶっ♡じゅるるっ♡じゅうっ♡

ぷはあっ♡はっ♡はあっ♡ふうっ♡

キミは本当に可愛いなあ♡

私にされるがままで♡

腰をへこへこ♡として、気持ちよさばかりアピールしてくる……♡

口の上側を舌で擦ってやりながら♡

ちんぼの裏筋も指で擦ってやると……♡

くく♡あっという間にとろけ顔だったな♡

そろそろイきたいんだろう♡

気持ちよ〜く♡イかせてやるからな……♡

はむっ♡んうっ♡んううう……♡

んじゅるっ♡じゅるっ♡じゅるるっ♡

じゅぞっ♡んぶっ♡ふっ♡んじゅるるうっ♡

じゅぞぞっ♡じゅっ♡ちゅうううっ♡

イ〜け♡イ〜け♡射精しろ……♡

私のお手々をどろどろにしまえ……♡

ちゅううっ♡ずぞっ♡じゅるるっ♡

ちゅううっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅううっ♡

ずずっ♡じゅううっ♡ちゅるるっ♡

ずずっ♡ずじゅるるるうっ♡ちゅううっ♡

ちゅううっ♡ずじゅううっ♡じゅっ♡

ずぞっ♡じゅるるっ♡じゅるるんっ♡

ずぞぞぞお〜っ♡ずじゅるるるう〜っ♡♡

つぶはあっ♡はあ〜っ♡はあ〜っ……♡

ご、ごめんね♡長くキスしすぎた♡

私はっ、肺とか鍛えてるけど……

キミは違うもんね、無理させちゃった。

大丈夫？無理に喋らなくていいからね、

まずは落ち着いて、深呼吸しよう？

え？な、なに？

酸欠になるのが気持ちよかったって……

そんなことあるの？

またして欲しいって言われてもねえ……

流石に危ないよ、キミが辛そうにしてるのは見たくないし。

はあ……

変態め。

※=====※

トラック 4

※=====※

おお、キミか……今日もいい天気だよ。

どうした？浮かない顔をしているが……

そうか。

気付かれてしまったか。

いかにも、私の傷は既に癒えているよ。

だから、私は本当なら、もう旅立たないといけないね。

だが、私はそれを拒みたい。

なぜか分かるかい？

ずっと、ここにいたいんだ……

キミと過ごしていたいんだよ。

キミは……どう思う？

そうか。

なら、無理やりにでも……ふふ、
キミをカラダで説得して、
ここに留まることにしよう……！

そうだ、最初からこうしていればよかったんだ……
こうやって抱き締めれば、キミは抵抗できない♡

膂力が違うんだよ、
キミと私ではねえ。

その煩い口は、塞いで差し上げよう。

どうかな、私のおっぱいで顔を潰される感覚は♡

はは、聞くまでもなさそうだ……♡
既にちんぽが膨らんできているな♡

おい、下着を脱げ。

さもなくば、このまま絞め落としてしまうぞ……？

くく、冗談だ♡
キミを苦しめるようなこと、

私にできるはずがないだろう♡

それでは、キミのちんぽを……♡

私の太腿で、むぎゅううっ♡と挟んでやる♡

あんなに抵抗していたのに、

もう甘い声が漏れているよ……？♡

本当はこうされるの、期待してたんじゃないの？

じゃ、動かしちゃうからね……♡

キミのあつつう〜い♡ちんぽがあ♡

私の太腿の間で擦り潰されちゃってるよ……♡

にゅぽ♡にゅぽ♡にゅぽおって……♡

おちんぽさん、いじめられちゃってるよ♡

私を送り出すんでしょ♡

頑張って抵抗しないといけないよ……？♡

あ〜あ……♡幸せすぎてなにも考えられないみたいだね♡

おっぱいにお顔幸せにされて♡

太腿におちんぽ幸せにされて♡

頭ばかになっちゃってるね……♡

いい子だね♡

にゆるにゆる……♡にゆるにゆる……♡

にゆふにゆふ……♡にゆふにゆふ……♡

そうだよ♡身を任せて……♡

気持ちよくなろうね……♡

ふふ……♡そろそろイかせてあげるよ♡

びゆくびゆくしようね……♡

ほおらほおら……♡

おちんぽもお顔もすり潰されて、なくなっちゃいそうだね♡

全身、びくびく♡させて……♡幸せそう♡

にゅっぽにゅっぽ♡にゅっぽにゅっぽ♡

ぱっちゅぱっちゅ♡ぱっちゅぱっちゅ♡

にゅぷっ♡にゅぷっ♡にゅぷうっ♡

にゆるにゆるにゆるっ♡にゆるるるうっ♡

溶けちゃえ♡溶けちゃえ♡

ぜえんぶ溶けて♡ぜえんぶ漏らしちゃえ♡

ぶびゆるっ♡びゆるるっ♡

びゅるるるるう〜っ♡

おいおい♡出しすぎじゃないか♡

そんなに気持ちいいのかい♡

くくく……もうふらふらだね♡

安心して眠れ、ベッドに運んでやる……

あの日のように、ね。

※=====※

トラック 5

※=====※

ん、ああ……キミか。

結局のところ、キミは、

私に旅立って欲しいと思っているんだろう？

キミは私に愛をくれた。

だが私がキミにしたことは、愛だったのだろうか……？

そう、気絶したキミを見て思ったよ。

私は、運命を受け入れることにしたよ。

旅は……続ける。

だが！それは諦めではない……！

キミへの愛ゆえだ！

必ず私は帰ってきて、キミと二人での生活を始めることを誓おう！

だから、しばしのお別れだね……

一秒たりともキミから離れたくないけれど、

キミの愛に応えるため、私は旅立つ。

だから最後に……ハグをしてほしい。

いいかな？

ありがとう。

さあ、来てくれ……

それじゃあ、私は行くよ。

玄関まで、来てくれ……

もし魔王を倒したら……

王様に報告するよりも先に、

両親に伝えるよりも先に、

キミの元に帰ってくるよ。

それからどうするかは、考えてない。

とにかく、キミと共にいたいんだ。

それじゃあ、行くよ。

またね。大好きだよ……

※=====※

トラック 6

※=====※

数日ぶりだね！元気してたかな……！？

どうしたんだい？

ぼうっとしているようだけど……

ああ、旅かい？

やめたよ、あんなもの。

玄関で立ち話ってのもなんだし、

家に上げてくれないかな？

ありがとう、今日は冷えるからね……

ある日、私の前に魔王が現れた。

驚いたよ、すぐに斬りかかったさ。

だがね、あいつは、私と争うつもりなどないというんだよ。

嘘をついているのかと思ったが、

信じてもらうために自分の片腕まで捨てた。

そして、あいつは私に取引を持ちかけてきた。

永遠の時間が欲しくないか……とね。

キミがご想像の通り……

私は人間をやめて、永遠の生を手にした。

その代わり、魔王とは不可侵の関係になったけどね。

キミからしてみれば、

私が魔王に誑かされたように見えるかな？

でもね、これは全部私の意志なんだよ。

こんなことを言えばキミが悲しむと思ったから、

あえて言わないでおいたことがある。

私はね、みんなを守るために

魔王や魔族と戦っているわけじゃないんだよ？

ただ、使命だから戦っていただけ。

そして、それがキミのために変わっただけ。

だから、キミが手に入るなら、

私にもう戦う理由なんてないんだ。

他の人間がどうなろうと、知ったことじゃないね。

キミは尊く、愛に溢れた崇高な人間だが……

私を操り、戦わせようとした人間も、

私の努力にあぐらをかいて、

自分らではなにもしなかった人間も、

等しくクズだ。

私は既に魔族になった……

次は、キミの番だよ。

心外だなあ、私はキミの為を思っているのに。

キミも魔族になれば、永遠を手に入れられるんだ。

二度と引き裂かれることのない、

二人の愛の園で暮らせるんだよ……！

どうして私の愛から逃げようとするんだい？

私はただ、キミに幸せになって欲しいだけなんだ。

分かってるんでしょ？

逃げたってしょうがないよ……？

大丈夫、絶対幸せにするからさ……！

捕まえたよ……♡

さあ、契りの儀式を始めよう♡

ふふ、押し倒しちゃった……♡

キミが私と交わり……

おまんこに射精すれば、儀式成立♡

晴れて、キミも魔族になり……

永遠の命を手に入れるというわけだよ♡

そういうわけで……♡

始めようか♡魔法で服は消しちゃったから♡

こうやって、体を密着させていると……♡

キミの温かさが染みるようだよ……♡

ねえ、キミはどう？

私のカラダが密着して……

女の子らしいところが、むにむにっ……♡て、

キミにくっついてるけど……♡

キミのおちんぽは、いつも正直だね♡

このままくっついてるのも幸せだけど……

本番♡しないとね♡

こうやって……♡

おまんこの入り口に、キミのおちんぽを合わせて……♡

えいっ♡

あああ……っ♡入っていくよ……♡

キミのっ♡ものが♡

もっ、もう動くよっ♡

体が疼いてっ、我慢できない♡

んあっ♡はっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

すごいつ♡あっ♡あっ♡はああっ♡

んっ♡あっ♡はっ♡はあっ♡ああっ♡

こんなにっ♡素晴らしいっ♡ことがっ♡

この世にあったなんてっ♡ああっ♡

キミもっ♡気持ちいいんだろうっ♡

あっ♡あっ♡ふあっ♡んっ♡

顔がっ♡蕩けているよおっ……♡

はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡

頭の中がっ♡ちかちかしてるっ……♡

んあっ♡でもっ……♡だんだんっ♡

ああっ♡かっ♡腰の動かし方がっ♡

分かって、きたよっ……♡

こうやってっ♡腰をっ♡ぐりぐりしてっ♡

キミのおちんぼの先っちょとっ……んっ♡

子宮の入り口っ♡ぎゅううってすると♡

すっごく気持ちいいっ♡

ほおら♡射精しちゃおうよ♡んっ♡

ぎっ♡儀式♡成立させちゃおう♡

気持ちよ〜く♡私のおまんこに負けてえ……♡

魔族になっちゃおうよっ……♡

ほらっ♡ほらっ♡ほらあっ……♡

おちんぼぐちゅぐちゅされるとっ♡

キミはなんにも考えられなくなっちゃうもんねえ♡

ばんばんっ♡ばんばんっ♡

ぱちゅぱちゅっ♡ぱちゅぱちゅっ♡

にゅふにゅふっ♡にゅふにゅふうっ♡

んあっ♡ほらっ♡イケっ♡イケっ♡

お精子ぶちまけちゃえっ♡

契約確定♡敗北お射精しちゃええっ♡

キミはっ♡私とっ♡幸せにっ♡なるんだっ♡

だせっ♡だせっ♡だしちゃえっ♡

ふふ、これでキミも魔族になっちゃったね♡

力が漲ってくるのを感じるでしょ？

最初は慣れない感覚かもしれないけど、

いつかそれが当たり前になるよ。

それじゃあ……

続きをしようか？

床でやるのは風情がないから、

魔法でベッドの上まで運んじゃったよ。

キミはイケたかもしれないけどさ、

私はまだイってないんだ……♡

だから、満足するまで付き合ってもらおうよ♡

大丈夫大丈夫。

魔族の肉体があれば、

2回や3回の連続射精だって余裕だからね。

現に、キミのモノはまだビンビンだ♡

さぁ♡ここからが本当のえっちだよ♡

私の愛と幸せを、

キミの体と魂に刻み込んであげるからね……♡

はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡んはぁっ♡

んぁっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡

ふうっ♡ふぁっ♡んふっ♡ぁっ♡ぁぁ……♡

くふうっ♡ぁっ♡んはぁ……♡

すごい顔してるよっ♡キミ……♡

そのっ♡えっちな顔でっ♡私をっ♡

誘っているんだろうっ……♡

これはお仕置きだっ♡

んじゅるるっ♡じゅぶっ♡じゅるっ♡

んちゅううっ♡ちゅぽっ♡ちゅっ♡ちゅうっ♡

ずちゅうっ♡ちゅうううう～っ♡

んぷはあっ♡はっ♡反省したかっ♡

勇者を惑わす変態魔族めっ♡

ほらっ♡ほらっ♡屈服しろっ♡ほらあっ♡

ふおおお～っ♡あ～っ♡ああ～っ♡

気持ちいいっ♡気持ちいいよっ♡

大好きっ♡大好きだあっ♡ああっ♡

キミのちんぽで下から突き上げられるのが最高なんだあ～っ♡

ひどいこと言ってごめんねっ♡んっ♡

無理やりえっちなことしてごめんねっ♡

でもっ♡でも我慢できないんだっ♡あっ♡

好きすぎてっ♡抑えきれなくてっ♡

んおっ♡ふおっ♡ひあああ～っ♡

もうだめだっ♡今度は私がイクっ♡あっ♡

頭の中に幸せが溢れてきてっ♡こっ♡

壊れてしまいそうなんだっ♡んはあっ♡

ん"ほおっ♡あっ♡あ"っ♡あ"んっ♡

ひぎいっ♡いいっ♡い"いっ♡ふうっ♡

ああっ♡やばいっ♡これっ♡すごいっ♡

あ"～っ♡いくっ♡いぐ♡いぐ♡いぎゅ♡

いぎゅっ♡いぎゅのっ♡んはああ～っ♡

ふあっ♡あっ♡あああああ～っ♡♡

あ"ああ～っ♡腰止まんないっ♡

キミのっ♡キミのこと犯したすぎてっ♡

体がえっちし続けちゃうんだっ♡

ひいいんっ♡んあっ♡ふああっ♡

はあ～っ♡はあ～っ♡こうなったらっ♡

キミがまたいくまで続けるからねっ♡

覚悟したまえよっ♡はっ♡はあっ♡あっ♡

はあっ♡はあっ♡はあっ♡こうっ♡やってっ♡

腰をっ♡ぐりんっ♡ぐりんっ♡って♡

前後にも動かすとおっ……♡あっ♡

きっ♡気持ちいいんでしょ♡

上から無理やりされてるのになっ♡

腰へこへこしちゃってさあっ♡

キミはっ♡こうやってっ♡女の子になっ♡

無理やりされるのがっ♡好きなんだよねっ♡

筋金入りの変態でっ♡マゾでっ♡

うううっ♡はあっ♡あんっ♡あぁっ……♡

でもっ♡だから好きなんだっ♡

私はっ♡そんなキミが大好きなんだよおっ♡

あっ♡はっ♡んあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

ふあっ♡んっ♡くひいっ♡ひいっ♡ひいんっ♡

やばっ♡はおっ♡ほっ♡おっ♡おほおっ♡

んおっ♡お"っ♡お"っ♡お"おおんっ♡

まっ♡また下品な声っ♡ん"おっ♡

でっ♡出ちゃってるうっ♡またっ♡

イ"っ♡イきそうになっちゃってるんだっ♡

あ"っ♡はっ♡やっ♡んあっ♡はあっ♡

キミもっ♡キミもイってくれっ♡あ"っ♡

二人でっ♡二人で幸せにっ♡あ"っ♡

あたまっ♡ばかになろうっ♡んおっ♡

おちんぽずこずこしてっ♡

おまんこずぽずぽしてっ♡

気持ちよくなろうっ♡お"っ♡ほおっ♡

ん"あっ♡はあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

ひぎいっ♡あっ♡あっ♡うあぁっ♡

ふおっ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"おっ♡

ん"おおっ♡おっおっおおっ♡ん"ほおっ♡

イぎゅううっ♡イぎゅうう〜っ♡

キミのちんぽがっ♡びくびくしてるのっ♡感じるよっ♡あぁっ♡

精子が上ってきてるのもっ♡分かるっ♡

イぎっ♡イっ♡ひぎいっ♡あっ♡

イぐ♡イぐ♡イぐ♡

ん"おおいっぐうううう〜っっ♡♡

しゅごいっ♡しゅごいでてりゅっ♡

あっ♡幸せっ♡ずっと♡ずっと♡幸せっ♡

永遠にっ♡永遠にえっちするんだあっ♡

はぁ……♡はぁ……♡もう離さないからね……♡

ずっと一緒だよ……♡

絶対幸せにするからね……♡

キミが望むなら、なんだってしてあげる……♡

だからどうか、ずっと側にいてね……♡

神様にだって、魔王にだって邪魔させない♡

キミと私の愛は……本物だから……♡